

オーム・ナマー・シヴァーヤ シュツダ・ビラーヴァル・ラーガ グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダとのチャンティング

オーム・ナマー・シヴァーヤ シュツダ・ビラーヴァル・ラーガ

ॐ नमः शिवाय

om namaḥ śivāya

オーム・ナマー・シヴァーヤ

オーム。私は、吉兆なる者、至高なる自己であるシヴァに
頭(こうべ)を垂れます。

ジュヌビエーブ・ジョーシによる紹介

オーム・ナマー・シヴァーヤは神聖なマントラです。このマントラの一つ一つの言葉のそれぞれの音節は、偉大な力で満たされています。このマントラを繰り返す時、それは人を真っすぐに自身の心に導き、内側と外側に安らぎの感覚をもたらします。

シッダ・ヨーガの道において、マントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤは、ディークシャー・マントラ、すなわち伝授のマントラです。シッダ・ヨーガのグルたちは、探究者のクンダリニー・シャクティを覚醒させるため、マントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤを授けます。

1947年8月15日の朝、バガヴァーン・ニッティヤーナンダはバーバ・ムクターナンダに、彼自身のパードゥカーを与えながら、このマントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤを受けました。

オーム・ナマー・シヴァーヤの言葉は、「オーム——脈動している原初の音。私は、吉兆なる者、至高なる自己であるシヴァをたたえます」を意味します。バーバが、彼のグル、バガヴァーン・ニッティヤーナンダからこのマントラを受け取った時、彼はこのマントラの真の意味と力を体験しました。バーバは、このマントラを通してシャクティパートの伝授を受け取りました。ですからそれ以来、彼はこの日——8月 15 日——を、彼の神聖な伝授、ディヴィヤ・ディークシャーの日としてたたえたのです。

シッダ・ヨーガの道においては、シッダ・ヨーギがバーバのディヴィヤ・ディークシャーをたたえる一つの方法として、神聖なマントラ、オーム・ナマー・シヴァーヤをチャンティングします。このページの音声録音は、グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダとのシッダ・ヨーガ・サツツァングからのものです。グルマーイとシッダ・ヨーガのミュージックアンサンブルによるシュッダ・ビラーヴァル・ラーガのオーム・ナマー・シヴァーヤのチャンティングを聴くことができます。このラーガは喜びと親愛に満ちあふれ、それと同時に生き生きとして優しいラサがあります。チャンティングしやすいように、まず聞いて、その後それに応じる形で繰り返してください。

